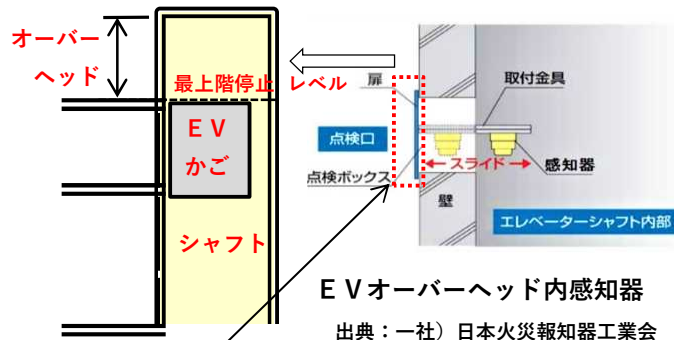


建築版	10-2	外装	設備工事： EVオーバーヘッドの 感知器用点検口の防水対策	電気	○	設備工事 ポイントシート (10-4)
				空調	-	
				衛生	-	
				その他	○	

エレベーターシャフトの最上階停止レベルより上部のオーバーヘッド部に、自火報設備の感知器が取付けられます。その点検口は、屋内仕様のため、屋上塔屋やハト小屋の外壁に設けますと、万一雨水が浸入した場合、エレベーターが水損してしまい、エレベーターの運行に支障をきたすため、点検口の外側に防水対策が必要になります。



EVオーバーヘッド内感知器
出典：(一社)日本火災報知器工業会

ここに鋼製点検口(建築工事)が必要

ポイント

■防水対策例

- ・感知器用点検口の外側に鋼製点検口を設置します。
- ・鋼製点検口の底部は、万一、雨水が浸入した時に、外部に自然排出するよう外勾配とします。

■工事区分の明確化

- ・建築と設備の工事区分を明確にしてください。
(鋼製点検口の設置工事は建築が担当します。)

電気工事：感知器用点検口

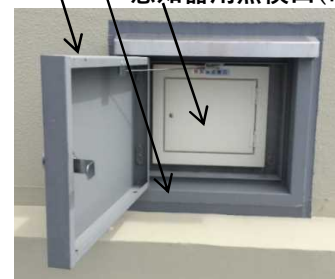
建築工事：鋼製SD点検口

鋼製点検口周りの雨水防水工事

SD点検口(建築工事)

点検口の底部外勾配

感知器用点検口(電気工事)



良い例

先輩アドバイス

- ・設備担当者と屋上点検口位置と止水対策を検討しましょう。
- ・外側の鋼製点検口は、建築工事とし、塔屋やハト小屋の壁に感知器点検口より広く開口を設け、外部に欠き込みを取り、SDと同じように溶接で取付けます。周囲に防水モルタルを詰め、防水シールを打ちます。
- ・外側の止水性能の責任は、建築担当者にあります。

チェック項目

- 詳細の納まりを施工図で調整しましたか。
- 鋼製点検口の底部は確実に外勾配ですか。
- 鋼製点検口と外周の水密性は問題ありませんか。

ハト小屋に欠き込みを取り

点検口の底部外勾配を設けます
感知器用点検口(電気工事)



良くない例

このような感知器設置場所となると、ハト小屋に欠き込みを設けたため雨水が浸入した。外部に鋼製点検口を設けるようにしましょう。

失敗すると...

- ・漏水しますとエレベーターの停止事故につながります。屋外点検口の防水対策は、建築の鋼製建具担当と設備の昇降機担当とで施工します。
(転落防止のため、点検口を開くとエレベーターが停止します。)

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期短縮 ・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
		-	-	○	-	-	-	-	○
備考	参考文献：						初版発行	2020年12月	
	参考メーカー：						改訂		